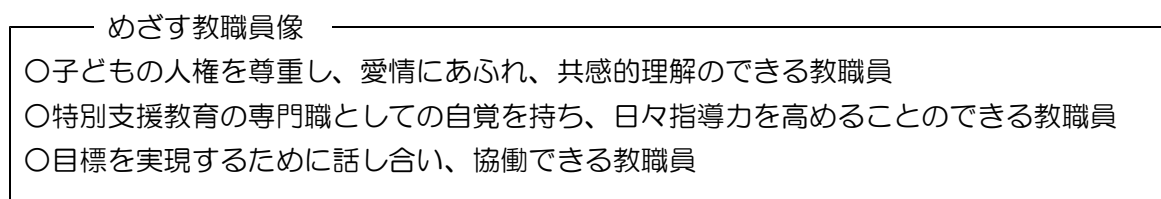
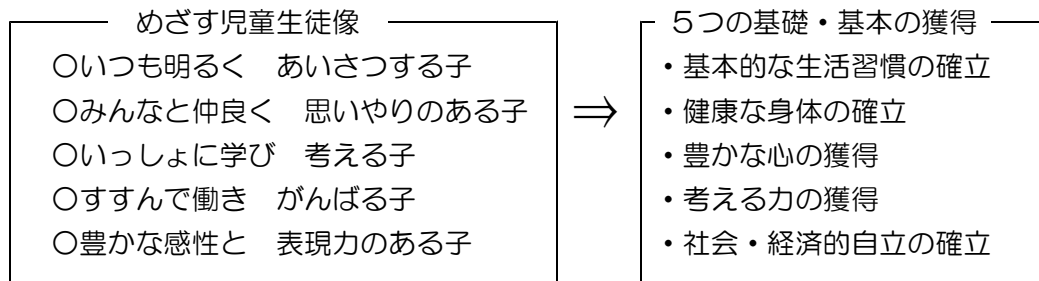


楨の実特別支援学校経営方針

1 学校教育目標

「豊かな心と健康なからだを育み、持てる力を最大限に発揮できる児童生徒を育てる」



2 学校経営方針

(1) 児童生徒が楽しく安心して学べる環境を整える。

- ・ケース会議等により児童生徒を理解することに努め、カウンセリングマインドをもって指導する。
- ・教職員同士のチームワークを強め、学部や職種を超えて協力しながら児童生徒の指導にあたる。
- ・保護者や医療機関等と連携しながら、医療的ケアの実施体制を整える。
- ・日常的に校舎内外の施設設備等の安全点検を実施し、改善が必要な場合は迅速に対応する。
- ・日常的に健康観察を実施し、保護者や施設職員と連携しながら、児童生徒の健康管理に努める。
- ・定期的に緊急時対応訓練を実施する。

(2) 「個別の指導計画」をもとにした PDCA のサイクルを機能させることで、日々の授業の充実を図る。

- ・「授業充実のための話し合い」の時間がしっかり確保できるように、会議の効率化を図るとともに、会議予定を調整する。
- ・学部主事や自立活動担当者等は、スーパーバイザーとして「授業充実のための話し合い」に参加する。
- ・教職員が協働して教材作成や日々の授業準備に取り組む。

(3) 指導力を高めるための研究・研修に努める。

- ・専門研修、ケース研修、ミニ研修、外部講師による研修会等に積極的に参加し、専門的な知識、技能を高めるよう努める。
- ・初任教員、新任教員、若年層の教員研修を全校レベルで支援する。
- ・特別支援教育の最新の動向を常に視野に入れながら、これまでの研究成果を発展充実させ、全職員が一丸となって実践研究に取り組む。

(4) 開かれた学校づくりに努めるとともに、特別支援教育のセンターとして地域支援を充実させる。

- ・学校評価をもとに学校運営等の改善を図り、保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。
- ・地域支援部を中心として、関係機関と連携を図りながら、地域の特別支援教育の推進に努める。
- ・児童生徒のニーズに合わせた学校間交流、居住地校交流の効果的な実施に努める。